

会費の納入について財務部からのお知らせ

今年度の会費納入はお済でしょうか。まだ納入されていない方は下記までお振込みをお願い致します。
なお、2年間未納の場合は退会となりますのでご注意ください。

振込先：伊予銀行 川内支店（普通）1180659
口座名：愛媛県言語聴覚士会 代表者名：林田聡（はやしだあきら）
年会費：5,000 円 ※新入会員は入会金 2,000 円も合わせてご入金ください。

- ◆ 引越し・異動等により、届出事項に変更があった場合は、変更届の提出が必要です。
- ◆ 休会、退会にも届出が必要です。
- ◆ ホームページ <http://st-ehime.org/> から各種変更手続きの用紙を印刷し、記入の上、事務局まで F A X または郵送をお願いいたします。

届出事項について事務局からのお知らせ

- ◆ 引越し・異動等により、届出事項に変更があった場合は、変更届の提出が必要です。
- ◆ 休会、退会にも届出が必要です。
- ◆ ホームページ <http://st-ehime.org/> から各種変更手続きの用紙を印刷し、記入の上、事務局まで F A X または郵送をお願いいたします。

県士会HPでは研修会や勉強会のお知らせなどを随時更新しています！



令和元年度第5回理事会

日時：令和元年12月18日（水） 19:00～
場所：南高井病院 参加人数：16名
議長：林田聡 書記：事務局

◆活動報告

会議出席など：リハ専臨時理事会、秋期都道府県士会会長会議、愛媛県高次機能障害支援連絡協議会、講師派遣、名義後援依頼、各部からの報告

◆議題

報告・検討事項：一般社団法人化設立総会および祝賀会について、人材育成事業について、DVD研修について、会費未納者について、会員情報の更新手続き方法について、緊急連絡網のホームページ掲載について、地域リハ関連事業について、学術集会特別講演について、3月号広報誌について、ホームページのお問合せメールについて、令和元年度言語聴覚の日について

◆予定

次回理事会 令和2年2月19日（水） 南高井病院

愛媛県言語聴覚士会

事務局：松山リハビリテーション病院

言語療法科内

住所：松山市高井町1211番地

TEL:089-975-7431

FAX:089-975-1670

URL:<http://st-ehime.org/>

広報誌編集：広報・渉外部



愛媛ST

検索

□■編集後記■□

おかげさまで愛媛県言語聴覚士会は一般社団法人となりました。

めんどろなこともたくさんありましたが、これもひとえに皆様のおかげです。心より感謝しております。これからも、

でっかい夢に向かって、皆様とともに羽ばたいていければ幸いです。しかし…もしも、

とてつもなく大きな壁にぶつかった時には、皆様の力をお借りして、

うるとらパワーと一緒に乗り越えていきたいと思えます。ぜひ皆様の声をお聞かせくださいませ。（* - ）（*_ _）



一般社団法人愛媛県言語聴覚士会 設立にあたって

2020年1月18日、愛媛県言語聴覚士会は一般社団法人設立総会を開催し、1月20日に法人登記が完了いたしました。設立にあたりご理解ご協力いただいた会員の皆様、設立総会および記念祝賀会にご出席いただいた会員の皆様、そして当日はご出席が叶わなかったものの委任状にて総会決議にご協力いただいたすべての会員の皆様に感謝いたします。

設立総会は愛媛県言語聴覚士会学術集会と同日に開催し、多くの方々の参加をいただきました。また総会后には、一般社団法人日本言語聴覚士協会 副会長（一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長）の内山量史先生に「地域包括ケアにおける言語聴覚士が果たす役割 ～地域言語聴覚士会の活動を考える～」と題して記念講演を開催いたしました。ご講演では、リハビリテーション領域を取り巻く近年の環境変化に対して、これからの言語聴覚士は地域リハビリテーションに活動の幅を広げていく必要があることを山梨県の事例を交えながらわかりやすくお話いただきました。

同日夕方より会場を変え、関連団体のご来賓もお招きし一般社団法人化記念祝賀会を開催しました。各団体代表の方々にお祝いと激励のお言葉をいただき、今後より一層の県士会活動の取り組みに決意を固くした次第です。

一般社団法人化により、やっとスタートラインに立てたという感ではありますが、今後とも県士会活動にご理解ご協力のほどよろしく願いいたします。会員の皆様、一緒に愛媛の言語聴覚士を盛り上げていきましょう！

愛媛県言語聴覚士会会長 林田聡（西条中央病院）

学術集会（令和2年1月18日）

今回私たちは、一般演題で発表させて頂きました。内容は失語症、嚥下障害患者様の症例報告です。初めての学会発表という事で、発表前より緊張していました。しかし、学会運営スタッフの方が親切に準備のお手伝いと、優しい声を掛けて下さり気持ちに余裕を持って発表に向かう事が出来ました。運営スタッフや、座長の皆様に感謝申し上げます。



発表の準備としては、分からない事ばかりで、先輩に忙しい中、沢山の指導を頂きました。7分間という発表時間の中で、専門用語の使い方や見やすいスライド作りに苦労しました。また、考察を深めていく中で学びがあり、多くの方に伝える難しさを感じました。

発表中の事は、緊張からあまり覚えていませんが、発表後にご質問頂いた先生方からアドバイスを頂け、視野が広がり良い経験になりました。毎日の臨床の中でも、意見交換しながら自己研鑽に励みたいと思います。

中山雄貴（HITO 病院） 小笠原美咲（HITO 病院）

特別講演（令和2年1月18日）

今回、令和2年1月18日に開催された愛媛県言語聴覚士会学術集会および、筑波大学の廣田栄子先生による特別講演「高齢期難聴者の聴覚活用と近年の課題」に参加しました。特別講演では、現在の高齢期難聴者の実際を知ることができました。近年、ライフサイクルに応じた難聴者(児)支援を実現するために、難聴対策を支える人材の育成・活用促進として言語聴覚士の名前が挙がっていることを知りました。



今回の講演を通じて、病院に勤務していると高齢期難聴者と接する機会があるにも関わらず、補聴器や人工内耳等の聴覚補償や、支援の特殊性を十分に理解できていなかったと感じました。今回の講演で学んだことを今後の臨床場面で活かし、聴覚障害に対してより理解を深めるとともに、高齢期難聴者の支援を行える言語聴覚士になれるよう努力して参りたいと思います。

祖母井美咲（おおぞら病院）

失語症者向け意思疎通支援事業

《失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修に参加して》

昨年10月末に行われた上記研修に参加させて頂きましたので、ご報告致します。この研修会は平成28年度に地域生活支援事業に「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」が追加され、「失語症者向け意思疎通支援者」の全国的な派遣体制を構築するため、意思疎通支援者の養成を目的として行われ、今年で3回目となりました。

研修の内容は失語症概論やコミュニケーション方法など諸先生方には既知の内容でしたが、この必修科目40時間、専門科目40時間を一般の方へ伝達し理解を得ることは大変な事業であると感じました。また、この事業は支援者となった方は県に登録され派遣の報酬が国や県から払われる“仕事”と位置付けられています。

既に派遣を実施している県もありますが、多くは都道府県と協議を行い、養成研修を始めようという段階です。県立中央病院の三瀬先生を中心に委員で検討しておりますが、国を挙げての事業であり、我々STも県への登録は研修受講が必要なため、多くの先生方の協力をよろしくお願い申し上げます。

山野紘和（松山リハビリテーション病院）

防災便り

《緊急連絡網伝達訓練の報告》

令和元年10月23日に実施した緊急連絡網伝達訓練では、ご協力ありがとうございました。連絡網訓練も回数を重ね、伝達の正確性が上がっています。今回は、事務局からメールを送りGoogle Formsというアンケートでの回答、一部の地域でLINEを用いた連絡網伝達訓練を行いました。

Google Formsの回答率は76.5%、LINEは既読になるので安否確認が可能、忙しい業務中になかなか電話は回し難く、自分のタイミングで受信・返信出来るという意見がありました。電話がつかない災害では、連絡手段の1つになる可能性が考えられ、今後も検討を重ねていく予定です。

問題点として、県士会からメールが届いていない先生がおられること、連絡網の情報が更新されていない施設があることが分かりました。個人情報への更新は各自事務局へお願いします。また、連絡網はHPへ掲載予定にしています。なお、被災された場合は、災害の大きさにより義援金などの支援が受けられる可能性がありますので連絡網を待たずに県士会へ連絡頂けると幸いです。災害対策について今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

災害対策委員会 飴矢美里（愛媛大学医学部耳鼻咽喉科）